

白石小学校だより

山口市立白石小学校

第 11 号

2022.2.28発行



学校運営協議会を経て

校長 伊藤 豊

去る2月7日に、学校運営協議会を開催しました。そこでは、先般お知らせした学校評価アンケートの結果や学力の状況、コロナ禍における学校運営の状況を説明しました。4月から、「あたたかいことば」を繰り返し口にしながら、お互いを思いあい、励みあい、支えあう学校運営を進めてきました。その結果、保護者の皆様には多くの点で学校への信頼や期待が寄せられていることがわかりました。

一方で、コロナ禍とはいえ、地域や白石中学校や近隣の幼稚園・保育園と連携した学びの機会が減っていることも明らかになりました。学校と家庭、地域が同じ課題意識や目標をもって大切な白石の子供たちを育てていくことが大切であると、協議会の場でも改めて確認されました。

そこで、来る11月8日に迫った開校150周年を記念する様々な取り組みを絶好の機会として、多くの方々や地域と連携した学びを充実させていきたいと考えます。開校150周年を迎えるにあたっては、昨年度末から、実行委員会を立ち上げて話し合いを重ねてきています。自分たちの学校のおめでたい節目となりますので、すでに全校児童のアイデアを取り入れた準備も始まっています。皆様には、4月にお披露目できる予定です。

あたたかいことばを大切にしながら、平素の教育実践と開校150周年記念に向けた特別な取り組みとも融合させ、児童の成長をしっかりと図っていくという令和4年度の大きな方向性が、協議会委員の皆様とも確認できましたので、この場をお借りしてご報告させていただきます。

白石小タイムスリップ 1994～2003（平成6年～平成15年）

この10年間は、教職員の研修記録が「研究紀要」として校長室に多く残っています。平成6年度は、「自分の力で活動をつくりだす意欲的な子供の姿を求めて」を主題に掲げ、その紀要の前文に以下の文章が示されています。一部引用します。

ところで、21世紀はこれまで以上に変化の激しい社会であり、国際化、情報化、高齢化等がいっそう進む中で、世界の恒久平和や自然と人類の共存等を実現することを根幹とする時代だと言われる一方、社会の成熟化と共に不透明さも指摘されています。

このような未来社会をよりよく生き抜いていくためには、豊かな心を育てると共に、思考力、判断力、表現力、情報活用能力等の学び取る力を身につけさせ、自立していくように育てることが大切だと考えます。

先の見えない未来社会において、生き抜いていく力を育む。そのために思考力、判断力、表現力、情報活用能力等を身につけさせる必要があるという当時のとらえは、まさに令和の世においても通用するものです。本校では、これまでも時代を先取りながら、常に優れた教育が実践してきたことが分かります。この教育研究の伝統を次代へも確実に引き継げるよう、教職員一同、改めて気持ちを引き締めて進んでまいります。

3月の行事予定

日	曜	校内行事
1	火	委員会活動
2	水	6年生を送る会前日準備・PTA運営委員会
3	木	6年生を送る会
4	金	4せいの日
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	4～6年6校時授業・5年電磁石教室①
9	水	つくし活動・5年電磁石教室②
10	木	つくし活動
11	金	つくし活動・3年タグラグビー出前授業
12	土	
13	日	
14	月	4せいの日
15	火	卒業式予行
16	水	
17	木	卒業式前日準備・6年生給食終了
18	金	卒業式・1～5年家庭学習日
19	土	
20	日	
21	月	(祝) 春分の日
22	火	短縮5校時授業・白石中仮入学
23	水	全校5校時授業
24	木	4せいの日・全校5校時授業・給食終了
25	金	修了式
26	土	
27	日	
28	月	学年末休業入り
29	火	
30	水	お別れ式
31	木	

卒業証書授与式について



春は出会いと別れの季節です。コロナ禍でいろいろな制限があった中でしたが、コロナ禍であってもやるべきことをきちんと果たした6年生が、またコロナ禍だからこそできることに目を向け、影となり日向となり白石小を支えてくれた6年生が、3月18日（金）に卒業します。今年度も会場内のソーシャルディスタンスの確保が難しいため、出席者を限定しての開催となります。本来であれば、子どもたちを支えていただいた地域各団体の皆様もご臨席の上、卒業生の姿をご覧いただきたいところですが、卒業生とその保護者、山口市教育委員会、学校運営協議会長、PTA会長、教職員のみでの実施といたします。何卒ご理解くださいますようよろしくお願ひいたします。当日は卒業生にとって、あたたかな門出の日になりますように。

4年二分の一成人式

2月15日（火）は6年生にとって、18日（金）は1～5年生にとって今年度最後の授業参観がありました。1月の自由参観日がなかったこともあり、児童は久々の参観日を楽しみにしていたようでした。

4年生は各教室で「二分の一成人式」を行いました。児童はそれまで、地域の方を講師としてお招きし、これからの生き方について考えを深めたり、クロームブックで発表用スライドを作成したりと、保護者の方に自分の成長や今まで育ててくれた方への感謝の気持ちを伝えたい一心で準備を進みました。当日は、自分の名前の由来や将来の夢を、保護者や友だちの前で発表したり、歌を届けたりしました。保護者からの手紙に感極まっていた児童もいました。二分の一成人式は、本校のキャリア教育の要として、生きることの素晴らしさや自身の成長に気付かせる絶好の機会となっています。4月からは、いよいよ高学年として活躍する子どもたちが、一人ひとりの夢の実現のために、大きな一步を踏み出したあたたかい式となりました。

